

医療問題を解決するために

上田染谷丘高等学校 1年 久保遼太郎

この問題に関わるSDGsの番号

3 すべての人に
健康と福祉を



6 安全な水とトイレ
を世界中に



テーマ設定の理由

医療を受けれずに、死んでしまうのはかわいそうだし嫌だと思ったから。

健康や医療の現状

近年においても医療へのアクセス不平等は残されたままで、多くの発展途上国では、医療従事者や医療施設の絶対数が足りないことに加えて、大都市のなかに偏って医療機関が存在しています。毎年、5歳の誕生日を待たずして命を失う子どもの数は600万人を超えているほか、開発途上地域で必要な医療を受けられる女性は、全体の半数にすぎません。また、途上国の大都市では最新の医療機器などが設備されていますが、人口の多い農村部などになると医師も医薬品も不足した状態になっています。

医療の問題点を解決するために

水・衛生施設を整える

途上国では、衛生的な水を手に入れるのが困難です。そのため、雨水や動物の糞・尿などで汚染された水を飲んで健康を害し、死に至る可能性があります。子どもたちが安全な水や衛生施設にアクセスすることができるようになれば、単に生活の質が向上するだけでなく、健やかに成長し、教育を受け、明るい未来を持つ機会を得られるようになります。



医師不足の改善

世界では数万人に対し医師1人という国も珍しくありません。途上国においては医師不足・医療従事者不足の問題は特に深刻なのです。医師が増えると救える命が多くなります。



自分たちにできること

自分たちにできることは募金やボランティアなどです。

自分ひとりが行動するだけではどうにもならないのでみんなで行動して改善して行きましょう。

参考文献

<https://gooddo.jp/magazine/health/3984/>